

「これからの滋賀県立図書館のあり方」行動計画評価シート

重点的な取組み項目	1. 全ての県民へ向けたサービスの実施		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町立図書館から受付けた依頼については、当日中に貸出、購入担当へ回付、所蔵館調査等を行い、迅速な提供に努めた。レファレンスについては、即日または1週間を目途に回答した。 (協力貸出：31,574冊(うち購入1,135冊)、所蔵館紹介：512件(うち県外494冊)、協力レファレンス：52件)</li> <li>・メールレファレンスやデジタルアーカイブなどの非来館型サービスを実施した。 (メールによるレファレンス：86件、デジタルアーカイブによる所蔵貴重資料の公開：特集3回)</li> <li>・障害者サービスについては協議会の意見を踏まえて資料や機器の広報にも努めた。 (資料整備：大活字本32冊 録音図書38点 DAISY図書1点 マルチメディアDAISY17点、マルチメディアDAISY図書の広報：研修会等での展示・啓発6回、読書支援機器のHP掲載による広報)</li> <li>・外国語を母語とする方のための資料整備と利用案内の作成・配布を行った。 (外国語資料整備：177冊、配布用外国語利用案内(中国語・ポルトガル語)の作成、県国際協会への配布)</li> <li>・館内環境の改善のため、雑誌コーナーソファの配置改善を行った。</li> <li>・文化ゾーン連携事業や県民活動の発表の場を提供した。 (文化ゾーン施設等連携事業：3回、県民への活動の場の提供：土曜サロン6回 パネル展示2回)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民に確実に図書館資料を提供するために、市町立図書館からの貸出依頼には迅速に対応するとともに、未所蔵資料については購入での対応を基本とし、所蔵館紹介を合わせながら必ず提供を行っていく。</li> <li>・市町立図書館からのレファレンスについて1週間以内の迅速な回答に努める。</li> <li>・読書バリアフリー法の施行を受けた、国の計画策定・県の計画策定の後、県の基本計画に基づいた当館サービス計画を作成する。</li> <li>・作成した外国語利用案内や所蔵資料リストの配布などにより、外国語を母語とする人々への情報発信に努める</li> <li>・文化ゾーン連携事業・県民活動の発表の場の提供について引き続き実施するとともに広報にも努める。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数	7.84冊	7.72冊	98.5%
県内公共図書館への協力貸出冊数	33,500冊	31,574冊	94.3%
図書館ホームページアクセス数	385,000件	341,088件	88.6%
県立図書館来館者数	242,500人	217,928人	89.9%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの指標も達成には至らなかった。</li> <li>・ホームページのアクセス件数は前年度比98%であるが、蔵書検索回数は同103%となっている。</li> <li>・来館者総数は前年度比96%であったが、イベント等集会活動に関しては、「子どもの本まつり」など新しい取り組みもあり同113%となった。</li> <li>・今後も魅力ある資料の整備や様々なイベント等の取組を進め、それらを発信することによって図書館利用につなげていく。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人が様々な検索ツールを持つ今、メールレファレンスなどの図書館の非来館型サービスには他では得られない情報があるということを利用者に認識してもらう必要がある。広報等により周知を図るとともに、さらに内容を充実させることが必要だと考える。</li> <li>・県内公共図書館の県民一人当たり貸出冊数は目標数値に届かなかったが、これには市町の図書館の努力も必要。県立図書館が市町から要望があった資料を用意することは市町にとって大きな支援と考える。市町では購入が難しい資料等の要望に対し対応できるよう、県立図書館の資料費の確保と提供体制の維持を望む。</li> <li>・外国語を母語とする方のための資料整備は今後ますます必要となるであろうが、限られた予算の中、本当に必要なものを利用者の意見を取り入れて整備することが大切であると思う。</li> <li>・文化ゾーンは公園が多く人の憩いの場になっている。障害のある人と支援者が存分に本に触れる場づくりは、館内の環境整備だけでなく、屋外を活用することで実現できることではないか。文化ゾーン公園での出前図書館カフェも図書館との出会いの場として楽しそうだ。</li> <li>・イベント等集会活動は来館者増につながっているとのこと。ぜひ多様な企画と、オンラインとマスメディアを通じた広報で、「本のある生活」を楽しみ入り口をつくってほしい。</li> <li>・来館者の多くが60代以上であるのに応じて、この年齢層をサービス対象としてきちんと認識し、利用の現状やニーズを分析して対応すべきである。</li> <li>・臨時休館しなければならなくなった時の図書館サービスの在り方も今後考える必要がある。</li> <li>・全項目においてH29年度より数値が下がっているのは問題なので、その原因を明確にすべきである。</li> </ul>			

重点的な取り組み項目	2. 県内各図書館の人・資料・情報をつなぐネットワークの整備・充実		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司書巡回における担当チーム制はチーム構成を改善し、チーム内でベテランから若手へのOJTを行いながら、巡回に当たっては各館の状況把握や、きめ細かい助言・情報提供に努めた。 (協力車による司書の巡回：各拠点館6回 各地域館2回)</li> <li>県内図書館職員向け研修を開催した。(5講座 参加者延べ371名)</li> <li>県公共図書館協議会において障害者サービスに関する事例研究を行った。(参加者22名)</li> <li>市町立図書館との職員交流研修を実施した。(2自治体 各8日)</li> <li>市町立図書館協議会への委員を派遣した。(1回)</li> <li>県内大学図書館と研修や会議への参加などの連携を行った。 (大学図書館との共催による研修実施：滋賀医科大学 1回、大学図書館連絡会への参加：1回)</li> <li>利用者のリクエストに応えるため、県外図書館との相互貸借を行った。(貸出1,405冊 借受344冊)</li> <li>国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を行った。 (レファレンス事例：31件 調べ案内：59件)</li> <li>中国湖南省図書館との資料交換を行った。(85冊送付、89冊受取)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内各図書館の状況について、担当チーム制で巡回して収集した情報のチーム内のみならずチーム間での共有を図る。</li> <li>引き続き県立図書館主催の研修の満足度を高めるとともに、県と市町間での職員の交流研修を実施する。</li> <li>全国的なレファレンス業務の向上と県の情報の発信にもつながるレファレンス事例の国立国会図書館への提供を積極的に実施する。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
県立図書館職員が訪問した市町立図書館の延べ館数	188館	188館	100.0%
県立図書館による資料提供に対する市町立図書館の満足度	85%	94.5%	111.2%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの指標ともに目標値を達成できた。</li> <li>市町立図書館職員との交流に関しては、相互交流研修などを活用し、お互いの現場の理解を深めていくことが重要である。</li> <li>資料提供に関しては、図書資料やレファレンス回答の迅速な提供とならんで、図書館運営に関する様々な情報の提供も行い、満足度を高めていくことが重要である。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の巡回、国立国会図書館、中国湖南省図書館との資料交換と色々な方向への対応が良かった。</li> <li>長い実績がある司書巡回はたいへん有意義な取組み。県立と市町の職員が顔を合わせて相談や情報交換をすることは、効果を簡単に数値では測れないが、日常業務をすすめるうえで大きなメリットがあると実感している。資料提供の満足度が高いことも相互理解の上に業務をすすめているからこそと思う。</li> <li>市町立図書館の満足度が前年(H30)の87%から94.5%に上がっていることは大いに評価できる。何が上昇の原因かを分析し、この満足度を維持することが大切だと思う。</li> <li>県立図書館による市町立図書館支援の仕事を県民にわかってもらうためにも、市町の図書館からの満足度調査の結果をHPに掲載するとよいのではないか。</li> <li>市町立図書館の職員との交流を通じて横のつながりを深めれば、全県的な取組み(催し物や企画展示など)ができるのではないだろうか。</li> </ul>			

重点的な取り組み項目	3. 地域の課題解決に向けた情報提供・情報発信		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き「産業育成のための基盤整備事業」において県内中小企業等の創業および経営の改善や新たな事業の創出を支援するための工学やビジネス関連図書の整備を行った。(880冊)</li> <li>・県施策に関連した図書展示を館内で行った。(10回)</li> <li>・県の施策や各部署の取り組みを紹介するパネル展示の場を提供した。(10回)</li> <li>・県機関主催セミナー等へ内容に関連した図書の出張展示を行った。(12回)</li> <li>・県機関に対する図書の貸出を行った。(5機関 1,588冊)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料展やパスファインダーによる情報発信・広報に積極的に取り組むことで、潜在的な需要を掘り起こし、県民への資料や情報の提供を促進する。</li> <li>・県民の学びを深める機会の提供および当館資料を広く知ってもらうため、引き続き県および関係機関主催のセミナー等への出張展示を行う。</li> <li>・全県的な課題に対応した図書館資料の収集に努める。令和2年度は「滋賀の森づくり図書整備事業」により県の森林政策の理解への寄与を図る。</li> <li>・県政の課題解決支援のために、県機関への資料の貸出やレファレンスを引き続き実施する。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
県関係部局との連携展示回数	26回	22回	84.6%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末にセミナー等の中止が相次ぎ、最終的には目標回数には至らなかった。</li> <li>・今後も情報収集に努め、県庁内の各所属の動きをとらえながら、タイムリーに連携展示を行っていく。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「県関係部局との連携展示回数」の目標達成率は84.6%だが、前年度の21回より増えている。年度末の状況を鑑みると、十分に努力されていると思われる。</li> <li>・連携事業の未達成は、コロナ禍のなかでは、いたしかたないと思われる。</li> <li>・今年度は1月より活動中止が多くなり目標達成は出来なかったが、各部署との連携を取り、内容を充実する事で1歩ずつ前に進めるのでは。感染症対策を講じたうえで、継続しての実施を期待する。</li> <li>・今後も他の各所属の情報や動きに注意して、連携展示を行ってほしい。</li> </ul>			

重点的な取組み項目	4. 子どもの読書活動の推進		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新刊書を幅広く収集すると同時に、基本的な児童図書の買い直し等により、閲覧・貸出用児童資料の整備をおこなった。(児童書整備 3,611冊)</li> <li>・昨年度寄贈された県産木材製書架を活用し、テーマ展示コーナーや表紙見せスペースの増加など、児童室の配架の改善を行った。</li> <li>・「子どもの読書に関わる人々への支援事業」実施に伴い以下の取組みを行った。 (研究・選定用資料の整備：1,259冊、児童研究室を研究・選定に利用できるレイアウトに改善、児童書新刊紹介「ひとつこ」リニューアル(研究・選定用資料リストの掲載を開始)、研究・選定用資料の展示会(出張展示含む)：24回)</li> <li>・県機関主催の子どもの読書に関する講座等に職員を講師や助言者として派遣するとともに県r年図書資料の提供を行った。(講師派遣等：のべ21名 図書資料提供：12回)</li> <li>・「楽しむ読書応援事業」において学校図書館活用支援のための職員派遣を行った。(16校 65回)</li> <li>・県内の学校図書館に対して学校図書館支援用図書の貸出を行った。(20件 978冊)</li> <li>・県内高等学校図書館に対して団体貸出登録を行った。(新規34校 累計42校)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き児童書の全点購入による閲覧・貸出用資料の整備に努める。</li> <li>・「子どもの読書にかかわる人々への支援事業」において、研究・選定用資料の整備や展示等広報に努めるとともに、事業内容や実績をホームページ等に明示することで事業の「見える化」を図り、さらなる活用を促す。</li> <li>・学校図書館への支援については、「学校図書館を活用した楽しむ読書推進事業」において引き続き学校図書館のリニューアルや運営改善の支援を行うとともに、学校図書館支援用図書の広報に努め、利用の促進を図る。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
県内公立図書館の児童図書貸出冊数(12歳以下の県民一人当たり)	24.4冊	24.4冊	100.0%
学校図書館支援用図書の貸出冊数	490冊	978冊	199.6%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの指標ともに目標値を達成できた。</li> <li>・子どもの読書活動推進関連の新事業については、優先的に取り組んだ結果、学校図書館支援用図書の貸出し冊数・校数は増加し、研究・選定用資料の利用も事業目標を上回るなど高い実績を上げることができた。</li> <li>・学校図書館支援事業は対象校からは好評を得ているが、事業終了後を見据え、市町教委や図書館への働きかけを通じて、事業成果を各市町へ浸透させていく必要がある。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多岐にわたる熱心な取り組みが素晴らしい。特に研究・選定用資料の整備は滋賀県立図書館ならではの重要な取り組みなので、HP以外でもさらに積極的に広報活動を進め、資料の貸出冊数、来館利用回数の伸びにつなげてほしい。</li> <li>・子どもの読書活動が順調に進展できていること(1人当たりの貸出冊数の目標が達成できたこと等)は評価できる。</li> <li>・学校図書館支援の取り組みは素晴らしい成果。今後もこの取り組みを県市町が連携して子どもの読書推進のフォローが続くことを期待する。</li> <li>・学校図書館については、リニューアル後の維持が課題である。各校が努力すべきことではあるが、県立図書館からも何か働きかけがあると思う。</li> <li>・子どもの貧困への取組みにおいて公共図書館に期待することは大きい。図書館まで来ない(来ることができない)子どもへのサポートを、学校や地域の居場所(子ども食堂等)と連携する形で継続、発展を望む。</li> <li>・就学後の子どもたちの読書習慣をつくるために、乳幼児をもつ保護者が絵本への興味をもって手に取る機会を増やす取り組みをお願いしたい。</li> </ul>			

重点的な取組み項目	5. 図書館サービスについての情報発信・周知		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化ゾーン連携事業を含め、計3回の書庫探検を実施した。(うち文化ゾーン連携2回)</li> <li>ホームページ「図書館からのお知らせ」「図書館トピックス」において行事等の周知や開催報告などを掲載した。(112件)</li> <li>メールマガジンによって、新着図書や行事のお知らせを配信した。 (新着図書：1回/週 行事案内：6回)</li> <li>経済産業関係団体や大学図書館に向けて、ビジネス・産業分野の新着図書案内メールを配信した。(1回/月)</li> <li>行事等について報道機関等への資料提供を行った。(16回)</li> <li>県政広報等を通じて行事等の広報を行った。(15回 25件)</li> <li>メディアの取材に対して協力し、外部媒体において当館が紹介された。またその都度、ホームページ「図書館からのお知らせ」において、新聞記事の報告や放送予告を行った。(メディア掲載回数：新聞9回 テレビ2回 ラジオ2回)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県立図書館の資料やサービスの周知のため、引き続き様々な媒体を利用した情報発信に取り組む。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
報道機関等への資料提供回数	24回	16回	66.7%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末にイベント等の中止が相次ぎ、最終的には目標回数に達しなかったが、積極的に資料提供に努めた結果、メディアに取り上げられた回数は前年度より多かった。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標未達成となったが、取組みの内容は良い方向性と思う。今後も積極的にイベント等の発信を期待する。</li> <li>HP「図書館からのお知らせ」、「図書館トピックス」など、定期的に情報発信されているがやや堅い感じがする。テーマ別の本の展示の紹介、図書館の周りの自然の変化、職員の紹介、おはなし会に来た子どもやおうちの人の声など、図書館に親しみを持ってもらう記事があってもよいのではないかと思う。</li> <li>「図書館からのお知らせ」は、委員の公募・刊行物案内・サービス変更・駐車場案内など、何でも入っているので、ややわかりにくい。たとえば、行事案内は別項目の方がわかりやすいのではないか。</li> <li>一般の図書館ファンに向けたWebマガジンが充実されると、県民と本(図書館)とのつながりが見えるのではないか。新着図書情報+αで、新聞のコラムのような記事と写真で構成される記事が配信されるイメージ。</li> <li>重要なのは、資料の提供回数だけでなく、何回実際に掲載されたかである。</li> </ul>			

重点的な取組み項目	6. 図書館サービスを支えるための基盤整備		
取組の成果と課題、今後の方向性			
<p>①令和元年度の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書構成方針を「これからの滋賀県立図書館のあり方」に基づいて改訂した。</li> <li>・滋賀資料・水資料をはじめ、専門書や学術書を重視した図書整備を行った。 (滋賀資料：767冊、水資料：296冊、参考図書：566冊、行政資料：1,701冊)</li> <li>・資料保存センター業務として、市町立図書館から移管された資料の受入れを行った。(図書：1,639冊 雑誌：164誌)</li> <li>・職員の資質向上のため、職員を外部研修等へ参加させるとともに、館内で全職員対象とした研修を実施した。 (職員の外部研修への参加：のべ53名 館内職員研修の実施：2回)</li> </ul>			
<p>②課題と今後の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の地の拠点となる資料整備のため、引き続き全権的な利用を考慮した資料の整備に努める。</li> <li>・地下書庫の収容限界までの期間を延ばすため、資料配置の変更や棚割りの見直しを通じて、余剰スペースの確保に努める。</li> <li>・司書の専門性の向上を継続的に図るため、職員の外部研修の機会の確保に努める。</li> </ul>			
○成果指標・事業目標	R1目標	R1実績	達成率
年間受入冊数	20,150冊	23,438冊	116.3%
県立図書館職員が研修に参加した延べ人数	36人	53人	147.2%
自己評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの指標とも目標を上回った。</li> <li>・前年度に引き続き、特に滋賀資料・水資料については、非市販資料の入手に努めた。</li> <li>・職員の研修についても可能な限り受講する体制をとれた。</li> <li>・質の高い図書館サービスの提供のために、さらに職員の資質と蔵書の充実を図っていく。</li> </ul>			
図書館協議会の意見等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の改修、資料受け入れ冊数、職員研修、それぞれがバランスよく充実していると思う。特に職員の対応は、来館者アンケート調査(2019.12)でも全体の8割が期待通りまたはそれ以上と回答している。専門家としての誇りを持った職員の実在は、決してAIでは代替できない財産であると感じる。</li> <li>・外部研修で得た知見を職員間で共有する機会を増やしていただくと更に良いと思う。</li> <li>・資料の整備は最も基本的なものなので、今後も継続して取り組んでほしい。</li> <li>・市町立図書館からの資料受入れについては県立図書館の無理な負担にならないよう効率的効果的にすすめるため、移管資料の内容の基準や方法について市町の側も協力してすすめていくように継続して呼びかけられたい。</li> <li>・蔵書スペースの確保は重要な問題と考えるので、中長期的な視野でのご検討をお願いする。</li> <li>・今回のコロナ禍を踏まえて、マニュアルなどを作ったり、消毒用のアルコールなどをストックするなど、今後は感染症拡大防止のための取り組みも必要である。</li> </ul>			